

# チーム

東中学校  
女子バレーボール部通信  
NO. 206号  
2月10日(月)

## “勝負強さ”

『勝負強い』ってどういうことだろう？  
『どうやったら『勝負強く』なれるだろう？』  
学年末テストに向けて勉強する中で、今一度  
自分自身で考えてみよう。

昨日のウインターカップ2日目の午後のチ  
ーム状態が、まさに今のチームを象徴してい  
ます。準決勝の知多東部中戦。知多地区2位とい  
うことで、今年の知多地区のレベルを考えたら  
各上の相手です。しかし、1セット目は23点  
まで食い下がり、2セット目は勝ち取るこ  
うできませんでした。しかし3セット目は、粘  
り切れませんでした。続いて行われた3位決  
定戦の長良中戦。同じような展開で、1セ  
ット目を奪われても2セット目を取り返し、  
迎えた3セット目。スタートから波に乗れ  
ず、そのまま負けてしまいました。負のイメ  
ージを植え付ける訳ではありませんが、思  
い返してみれば、これまでにフルセ  
ットになった試合（新人戦瀬戸尾張旭地区決  
勝戦（v s 旭中）&新人戦愛日地区大会準決  
勝（v s 日進東中）&冬季愛日大会準決勝（v  
s 長久手南中）は、全て勝つことができてい  
ません。実力的に全くかなわない相手では  
ないはず。では、一体こういった結果になっ  
てしまうのはなぜだろう？先生は、このチ  
ームの結成当初のイメージは『接戦に負け  
ない！』『競ったら負けない！』でした。も  
う一度、あの時の自分たちを取り戻すた  
めに、一人一人がしっかりと問題意識を  
もって取り組んでいこう。



## 【先輩としての想い】

ウインターカップ2日間は、7年前の卒業生（旭小6年生の時  
は先生が担任でした。）でバレー部OGの加藤生恵さんが来て  
くれました。東京の大学に通っている忙しい中ですが、母校  
に足を運び、みんなを指導してくれました。技術面だけでなく、  
気持ちの面でもいろいろなことを教わったと思います。みんな  
ができる恩返しは、“成長した姿”を見せることです。



## 【みんなに支えられて】

- 朝早くから会場準備・駐車場での誘導をしてくれた人
- ゴミの分別のため、お弁当箱を冷たい水で洗っていた人
- 本来なら東中が審判をしなくてはいけなかったのに、「近いのでやります。」と快く審判を変わってくれた人

上に挙げた人たちはみんなと同じ中学生です。この他にも大会運営に携わってくれた方・快く審判や球出しを引き受けてくれた高校生、そして忘れてはいけないのが家族の協力・支えです。あなたたちは、たくさんの人に支えられているのです。

